

6 列国の対中財政援助策

1258

昭和12年 7月29日

在満州国植田大使より
広田外務大臣宛(電報)

英国に対し中国への経済財政援助は事変不協

大方針に反する所以を強く明示方意見具申

新 京 7月29日後発

本 省 7月29日夜着

第六四八號(極秘)

往電第六三三號ニ關シ

堀内次官へ澤田參事官ヨリ

北支事變ニ對スル支那側ノ最終的態度如何ハ英米ノ援助特ニ英國側ノ經濟金融上支持ノ有無ニ依リ左右セラルコト大ナリト言フヘク從テ帝國ノ企圖スル國策ノ急速且有效適切ナル解決ヲ計ル爲ニハ此ノ際何等力適當ノ方法ニ於テ英國側ニ對シ其ノ直接タルト間接タルト問ハス支那ニ經濟的財政的援助ヲ與フルコト力事態ノ不擴大ヲ希念スル帝國政府ノ方針ニ反スル所以ヲ深ク「インプレス」スルコト眞

ニ事態ノ擴大ヲ防止スル上ニ於テモ將又支那側財政ニ痛撃ヲ與フルノ措置トシテモ又他日必要ニ應シ税關ノ差押、銀行ノ管理ヲ行フカ如キ非常手段ヲ執ラサルヲ得サルカ如キ場合ニ於ケル口實ノ素地ヲ作り置ク爲ニモ緊要事ナリト認メラル右ハ既ニ内外呼應御配慮中ノコトト存スルモ小官歸任早々特ニ感得セル次第モアリ取急キ上申ス

~~~~~

1259

昭和12年 8月12日

在仏国杉村大使より  
広田外務大臣宛(電報)

仏國銀行の対中融資に関する同國政府当局の

説明振り報告

パ リ 8月12日後発  
本 省 8月13日前着

第四三四號

貴電<sup>(1)</sup>第二三五號ニ關シ

十二日内山カ「コスム」局長ヨリ聴取リタル所左ノ通り

一、對支融資ノ銀行名ハ往電第四二九號ノ通り

二、本件ハ數箇月前ヨリ問題トナリ居タルモノニシテ支那カ銀塊ヲ在香港印度支那銀行支店ニ預入レタル額ニ相當スル佛貨ヲ融通セントスルモノナルカ最初ハ一億法ヲ限度トスルモ場合ニ依リ二億法迄増額シ得ルコト、ナリ居リ其ノ性質ハ借款ニアラス全クノ私的取引ニシテ政府ノ介入ヲ許サ、ルモノナリ而シテ本件契約調印ノ日直ニ在京佛國大使ニ日本側ヨリ質問アリ次第回答シ得ル様電報濟ナリ

三、<sup>(2)</sup>本件融資ト同種ノ事カ米國ニ於テモ行ハレ其ノ額ハ一四萬弗ト承知ス

四、佛國政府トシテハ此ノ種契約ニ對シ何等介入スヘキニアラサルモ現在ノ極東時局ニ鑑ミ日本ニ對シ特別ノ友情ト氣兼ニ支那側ヲシテ本資金ハ戰爭ノ目的ニ使用スルヲ得ストノ一札ヲ入レシメ置ケリ云々

五、尙前記契約及佛國政府ニ對スル支那側ノ誓約書寫ヲ貰ヒ受ケ度シトノ内山ノ申出ニ對シ成ルヘク速ニ入手ノ上送付スヘシト答ヘタリ

英、獨、伊、米ヘ轉電セリ

1260

昭和12年10月23日  
在香港水沢總領事より  
広田外務大臣宛(電報)

### 仏國および英國の対中財政支援に関する情報報告

香港 10月23日前発  
本省 10月23日後着

第六三二號(極秘)

往電第五八六號ニ關シ

二億萬元借款ノ件ニ付當館聯絡者ヨリ軍事委員會機要處祕書科長甘乃光ニ問合セタル處佛國カ小國ノ名義ヲ借りタル借款ナル旨二十一日回電越セル趣ナリ

尙聞込ニ依レハ支那軍閥ノ香上銀行預金合計約十億元(三千萬元級十七名)ニ達シ居レル處蔣介石ハ軍費捻出ノ爲對英三十億元借款ヲ目論見タルモ其ノ見込ナク右十億ノ軍閥預金ヲ以テ強制的ニ救國公債ニ振替ヘシムル肚ヲ定メ英國側ト交渉中ノ由右ハ未タ確メ得サルモ御參考迄  
上海、臺灣外事課長ヘ轉電アリタシ

1261

昭和12年12月2日  
在上海岡本總領事より  
広田外務大臣宛(電報)

英國銀行の対中借款成立説に関するホール・  
パッチの説明振り報告

第二四九五號

財務官ヨリ

上海 12月2日後発  
本省 12月2日夜着

本日「ホールパッチ」ニ面接ノ折六百萬磅ノ對支借款成立ノ噂(客月二十九日發巴里正金電報)ニ付實シタル處「ホ」ハ「借款ノ話ハ初耳ナルカ「サスーン」ハ一風變リ者ニシテ當地外國銀行組合ニモ入り居ラス純粹ノ英國系ニモアラサルモ英國政府ノ態度ヲ知り居レル以上「サ」ト雖參加スルカ如キコトナカルヘシト思ハレ「サ」トハ少々仲違ナレハ率直ニハ申ササルヤモ知レサルモ兎ニ角直ニ問合ハスヘク若シ判明セサルトキハ今後倫敦ニ問合ハシ結果ハ知ラスヘシ本問題ニ付テハ日本側力關心ヲ有スルト同様自分モ亦關心ヲ有スル次第ナリ」ト語リタルカ後刻電話ヲ以テ「上海ニ於テ各方面ヲ取調ヘタル處「サ」ハ中央銀行ヨリ購買ヲ爲シ居レル者ニシテ借款參加等ノ事實ナク本借款ノ噂ハ全ク信ヲ置キ難キモノト認メラル從テ倫敦ニ電信照

會スルコトハ見合スコトセリ」トテ之ヲ否定セリ  
北平、天津へ轉電セリ

1262

昭和12年12月6日

在仏国杉村大使より  
広田外務大臣宛(電報)

ユダヤ系銀行団の対中クレジット供与に関する  
情報報告

パリ 12月6日後発  
本省 12月7日前着

第七三八號(極秘)

貴電合第二八三一號ニ關シ

當地正金日<sup>。</sup>沖支店長ノ伊太利國立銀行在佛代表「マリオ、ペナキオ」ヨリ得タル内密ノ聞込ニ依レハ支那中央銀行ト猶太系銀行團(倫敦「サツスン」商會、和蘭「メンデルソン」商會、瑞西ノ「バンキングコーポレーション」及同國ノ「ルシエール」商會ヨリ成ル)トノ間ニ六〇〇萬磅ノ短期信用契約カ成立シ支那側ハ右擔保トシテ香港ニ貯藏セル八〇〇萬磅銀塊ヲ同地ヨリ倫敦ニ向ケ積出セル趣ナリ  
英、伊へ轉電シ獨、白、壽府へ暗送セリ

1263

昭和13年1月10日  
在英國吉田大使より  
広田外務大臣宛

各国の対中借款または信用設定に関する横浜

正金銀行ロンドン支店長の報告転送について

機密第一八號  
(2月3日接受)

昭和十三年一月十日

在英

特命全權大使 吉田 茂〔印〕

外務大臣 廣田 弘毅殿

各國ノ對支借款又ハ信用設定ニ關スル件

本件ニ關シ當地横濱正金銀行倫敦支店長ヨリ別添寫ノ通報  
告アリタルニ付右茲ニ送付ス

(別 添)

各國ノ對支援助「借款」又ハ「信用設定」ニ就テ

(附 當地ニアル支那勘定ノ銀)

各國カ對支援助ノ爲ニ借款ダノ信用設定ヲシタト云フ「ニ  
ュース」ヲ支那及日本ノ新聞雜誌ニ散見スル、蓋シ支那側  
「ニュース」ハ宣傳デアル、日本ノ方ハ臆測ト支那宣傳ヲ

眞ニ受ケタノデアツテ大体ハ空文デアル。

當店デハ頭取席及關係各店ヘハ其都度報告ヲシテ居ルカ茲  
ニ取纏メテ各位ノ御參考迄ニ御報告申上ゲル。

◎孔祥熙氏滯歐中各國デ契約調印シタ借款及信用設定  
ハ左ノ通デアル。

合計六ツアル、即チ

一、佛國

爲替信用設定 八月九日

金額 二億法迄、差當リ一億法トシ、二億法迄臨時増

額シ得

當事者 支那中央銀行ト佛國銀行團(Headed by Lazard

Freres)

目的 爲替資金充實

擔保 銀塊

但シ戦局不振ナルニ鑑ミ何時開始スルヤ未定

想像スレバ申譯的二銀塊ヲ「ビッグマーヂン」デ擔保ニ

上海ノ佛國銀行ガトリ若干巴里デ融通シタカモ知レスガ、

アツタトテ八月中ノコトデ金額ハ少額ダ。

二、和蘭、瑞西

信用設定

金額 一億瑞西法 八月十三日

支那中央銀行ト和蘭、瑞西銀行間 (Headed by Laescher & Co. 及 Mendelssohn & Co.)

但シ瑞西ニ於テハ金額一千萬瑞西法ヲ越ユル對外貸出ニ就テハ國民銀行ノ許可ヲ要スルコト、ナリ居リ、小生ガ同行ニ問合セタ處、同行ハ承知セザル由ニ付、瑞西側ハヤツタトシテモ各行一千萬瑞西法以下ナルベシ。

目的 爲替資金充實及「チェッコ」ノ武器買入融通

擔保 銀塊

コレモ戰局不振ナルニ鑑ミ何時開始セルヤ詳カナラズ。

三、「チェッコスロヴァキア」信用設定

金額 一千萬磅見當

主トシテ軍需品(Industrial goods)買入ノ爲

協定當事者、孔祥熙ト Skoda Works 其他

第一回受渡ハ現金拂トシ其後ノ分ハ七年乃至十年ノ分割拂トス。

擔保其他不明

「チェッコ」ガ武器ヲ賣ツテハ居ルガ本信用ヲ使用シテ

居ルカ疑問ナリ。

四、英國。公募サルベキ借款

(1) 廣梅鐵道借款 七月二十八日成立

金額 三百萬磅

當事者 中英公司

目的 鐵道材料買入

(2) 浦信鐵道借款 八月四日成立

金額 四百萬磅

當事者 中英公司

目的 鐵道材料買入

(3) 幣制及內債低利借換借款 七月三十日及八月三日

金額 二千萬磅

相手方 香上銀行

時局支那ニ不利ナルヲ以テ(1)(2)(3)共公募見込ナク全部御流レトナツタ。

右ノ外十一月末英、米、佛、猶太系銀行團ノ對支信用設定説ガ傳ハツタ、

支那中央銀行ト左記猶太系銀行團トノ間ニ短期信用約六百萬磅、擔保、香港ヨリ積出ノ銀塊八百萬磅

Sassoon & Co., Swiss Bank Corporation London Office,  
Mendelssohn & Co.

其他ノ條件不明

銀買取契約デ唯航海中及改鑄中便宜幾分ヲ貸スト云フ位ノ  
モノデハナイカト思フ。

次ニ武器代金ナルモノハ原則トシテ現金拂デアル。ソレハ  
如何ニシテ拂フカト云フニ米弗拂乃至弗賣ニヨリ支辨サレ  
テ居ルモノト思フ。

支那勘定ノ銀ハ左ノ通トナル。

一、數量

(イ)當地在高約 一〇〇、〇〇〇、〇〇〇香港弗見當

(@ 1/3 一一、五〇〇、〇〇〇 磅)

(ロ)航海中約 一五〇、〇〇〇、〇〇〇香港弗

(@ 1/3 九、三七〇、〇〇〇 磅)

主トシテ香港積出銀

二、當地在銀ハ全部Safe Custodyトナツテ居ル。

三、目下 Johnson Mathay 及<sup>レ</sup> Rothschild ニエツテ改鑄中。  
品位九九九ノ Bar ヲ作ツテ居ルカラ米國向積出ヲ目標  
トスルノデアル。尤モ銀貨ノ儘デ米國向積出サレタモノ

モアル。

四、既ニ一千萬「オンス」以上米國へ積送

五、當地市場ニテ直接賣却サレタル形跡ナシ。又賣却セント

スル様子モナイ

六、察スルニ幾分南京政府ト米國間ノ銀協定ニヨリ換金支那

政府在外資金トナルベシ。幾分ハ支那財閥及個人ノ私有

銀ヲ香港ニ積出シ更ニ在外ノ私有預金トナルコト、思ハ  
ル。

七、各國信用協定中擔保ヲ銀塊トスルモノハ、右倫敦保管ノ

幾分ヲ見返リ居ルモノナルベシ。

So far 以上ノ通りデアルガ、本件ニ就キ御聞込ノコトア

ラバ御教示願度又本件以外ニ何カアラバ御教示ヲ願ヒ度イ。

以 上

~~~~~

1264 昭和13年3月19日 在上海岡本総領事より
広田外務大臣宛(電報)

英蘭銀行が中国政府名義の公債発行を再開し
たとの情報報告

第九一七號

往電第八一七號ニ關シ

上海 3月19日後発
本省 3月19日夜着

宋子文祕書カ諜者ニ對スル内話ニ依レハ(出所極祕)孔祥熙カ客年倫敦滯在中英蘭銀行ニ於テ元利ノ支拂ヲ保證スル條件ノ下ニ支那政府ノ名義ヲ以テ五千萬磅公債ヲ發行シ之ヲ米國ニ賣出スコトニ話合纏マリ事變前迄二期分(五期ニ分ツ)ヲ支出シ其ノ後ハ英國側ニ於テ支出ヲ停止シ居タル處先般宋子文ノ奔走ニ依リ本件ヲ繼續スルコトナリ第三期分ノ支出ヲ受ケタルカ右カ英支間ニ新規ノ借款成立セリト傳ヘラレタルモノナルヘク又右ハ財政整理及建設事業ニ使用(材料ハ英國ヨリ購入ス)スル話合ナリシカ武器買入ニモ幾分流用セラレ居ル由ナリ(發表差控ヘラレ度シ)

北京、天津へ轉電セリ

1265

昭和13年6月2日

在米國齋藤大使より
宇垣外務大臣宛(電報)

米中銀協定に関する米国紙報道について

第三〇一號

ワシントン 6月2日後発
本省 6月3日前着

一日華府發U、Pハ一九三六年五月以降米國ハ約二億五千萬「オンス」ノ支那銀ヲ購入シタルカ右購入ハ各或ル特定期間ヲ限リタル米支兩國ノ了解ニ依リ行ハレ客年十二月成立ノ了解ニ依ル支那銀ノ購入及輸送ハ本年四月完了シタル旨竝ニ更ニ去ル四月支那銀ノ新ナル了解成立右ニ依ル銀ノ輸送ハ七月十五日迄ニ完了スルコトナリ居ル旨報シ居レリ

紐育、英ニ郵送セリ

1266

昭和13年7月12日

在米國齋藤大使より
宇垣外務大臣宛

米中銀協定の更新に関するUP通信報告

普通公第三九二號

(8月5日接受)

昭和十三年七月十二日

在米

特命全權大使 齋藤 博〔印〕

外務大臣 宇垣 一成殿

米支銀買入協定更新ニ關スル件

七月十一日華府發「ユ一、ピー」通信ニ依レハ現行米支間銀買入協定ハ來ル七月十五日期限滿了トナル處支那政府ハ右協定ノ更新ヲ希望シ米國大藏省ト一兩日中ニ協議ヲ開始スル筈ニテ米國側モ之力更新ニ異存ナキ模様ナル趣ナリ
尙米國ハ米支間銀買入協定(從來三回更新セラル)ニ依リ一九三六年五月以降約三億「オンス」ノ銀ヲ購入セルカ其ノ買入價格ニ關シテハ右協定中ニ何等規定スル所ナク支那側ハ大藏省申出價格ヲ其高下ニ拘ラス承諾シタルモノナル由ニテ本年四月迄ノ分ハ「オンス」當り四十五仙其後ノ分ハ同シク四十三仙ヲ以テ購入セラレ而シテ右代金ハ大部分之ヲ米國ヨリノ物資購入代金並諸外國特ニ支那カ日支事變ニ要スル武器軍需品ヲ購買シタル佛國及瑞西等ニ於テ設定セラレタル對支「クレヂット」支持ニ充當セラレタル趣ナリ
尙又同通信ハ國民政府ハ客秋其保有銀カ日本ノ手ニ落ツルコトナキ様其殆ト全部タル約三億三千萬「オンス」ヲ倫敦ニ輸送シタルカ其約半額ハ其後倫敦ヨリ米國ニ移送セラレタル旨ヲ併セテ報シ居レリ

何等御參考迄切拔添付報告申進ス

本信寫送付先 紐育

~~~~~

1267

昭和13年9月21日

在ニューヨーク若杉總領事より  
宇垣外務大臣宛(電報)

米国の銀購入政策継続に關する米中協議開始  
の報道報告

ニューヨーク 9月21日後發

本 省 9月22日前着

第三五八號

二十日華府發「タイムス」特電ハ同日陳光甫一行ハ「モウゲンソウ」長官ト第一回會談ヲ爲シ會談内容ハ恐ラク米國ノ銀買上政策ノ繼續ニ關スルモノナル旨ヲ報シ居レリ

又廿一日「トリビューン」所載二十日華府發U・Pモ右ト同様ニシテ一行ハ陳光甫、席德懋、通商委員會委員タル  
字アキ)

外一名ナルコト、「モウゲンソウ」會見前既ニ大藏省平衡資金課課長「アーチー、ロツホヘツド」ト擬議セルコト及「モウゲンソウ」ハ一行ノ渡米ハ  
(數文字分アキ) 討議ノ爲自己ノ招聘ニ依ルモノナリト述ヘタル旨ヲ報シ居レリ



又當地同盟ノ内報セル所ニ依レハ一行ノ目的ハ右ノ銀協定ノ外米國政府ノ保證ヲ得テ民間銀行ヨリ「クレヂット」ヲ取付クルコトニ在ルモ目下南米諸國ニ出張中ナル輸出入銀行總裁「ピアソン」カ歸米後十月中旬頃ナル由ニアラサレハ交渉開始困難ナル趣ナリ尙本件ニ關シ當地主要銀行筋ハ到底考慮ノ餘地ナシト爲セルモ獨リ「チエイス、ナシヨナル」銀行ハ  
(四字アキ)  
 トシテ考慮スヘシト答ヘタル趣ナリ右不取敢  
 米ヘ轉電セリ  
 桑港、「ホノルル」、晚香坡ヘ暗送セリ

1268

昭和13年9月23日

在ニューヨーク若杉総領事より  
 宇垣外務大臣宛(電報)

銀購入継続問題を中心に米中協議は相当広汎に  
 わたり米国の態度は中国に好意的との報道報告

ニューヨーク 9月23日後発

本省 9月24日前着

第三六四號

往電第三五八號ニ關シ

二十二日華府發「ユ、ピー」ハ本件一行ト大藏當局トノ會談カ少クモ二、三週間繼續サルヘシトノ大藏當局ノ發表ニモ鑑ミ同會談ノ内容ハ相當廣範圍ニ亘ルヘキモ銀買上協定ノ更新問題カ依然討議ノ中心タルハ疑ナク之ニ對スル米國側態度ハ好意的ト觀察セラレ居ル旨及漢口陷落後ノ舊法幣ニ對スル米國大藏當局ノ一般的態度打診殊ニ十八億弗ノ平衡資金運用カ支那爲替政策ニ動搖ヲ來スカ如キコトナキ様大藏當局ノ保障ヲ取付クルコトニアル旨ヲ報シ居レリ  
 米ヘ轉電セリ

1269

昭和13年10月7日

在マニラ木原(次太郎)総領事代理より  
 近衛外務大臣宛(電報)

軍需物資購入のためのクレジット設定や米國  
 政府保管の棉麦購入に関し米中両國が協議中  
 との報道報告

マニラ 10月7日後発

本省 10月7日夜着

第四九八號

六日華府發「ユ、ピー」電ニ依レハ支那ハ米國政府保管

中ノ莫大ナル棉花及小麦ノ買付方ニ關シ大藏當局ト交渉中  
ニテ又軍需品購入ノ目的ヲ以テ米國銀行ニ借款ヲ申込ミ  
「クレヂット」ヲ設定スヘク運動中ナルカ大藏當局ハ同交  
渉カ前商議ニ比シ遙ニ廣汎ニ亘リ居ルコトヲ肯定シ財界ニ  
於テハ支那力過去ニ於テ棉花及小麦買付ニ對シ嚴格ニ履行  
セルニ鑑ミ本商議ニ於テモ有利ノ立場ニアリト觀測シ居ル  
趣ナリ

1270

昭和13年12月15日

在ニューヨーク若杉総領事より  
有田外務大臣宛(電報)

米政府による対中輸出品へのクレジット設  
定に関する情報報告

ニューヨーク 12月15日後発

本省 12月16日前着

第四五六號

往電第四五四號ニ關シ

當館ノ得タル内報ニ依レハ復興金融會社社長「ジョーン  
ズ」ハ本日華府ニ於テ本件「クレヂット」金額ハ二千五百  
萬弗期間五箇年輸出物ハ工業製造品及農產品ナル旨ヲ確言

セル趣ナリ  
米へ轉電セリ

1271

昭和13年12月17日

在米國堀内大使より  
有田外務大臣宛(電報)

米国の対中クレジット設定に關し國務省は関  
与を認めていないが同國政府の関与を窺わせ  
る諸情報報告

ワシントン 12月17日後発

本省 12月18日後着

第五七八號

紐育發貴大臣宛電報第四五四號ニ關シ

本件對支「クレジット」ニ付國務省ニ於テハ一切關知セサ  
ル建前ヲ持シ居ルモ當館ニ於テ内査セル所ニ依レハ(イ)豫メ  
大統領ノ承認ヲ得タルニ相違ナキコト(ロ)英國力對支「クレ  
ヂット」ヲ擴張スルト時ヲ同シクシテ成立シ居リ且先般來  
英國財政家「サー・ジョーヂ・ピツシユ」等來米當國財政  
當局トモ密接ノ聯絡ヲ執リ居リシ事實等ニモ鑑ミ豫メ英米  
間ニ話合位ハアリシモノナルコト(ハ)安全性疑ハシキニ拘ラ

ススル信用ヲ與ヘタルハ政治的ノ「ジエスチャ」ヲ多分ニ包含スルモノナルコトノ諸點ニ付テハ先ツ爭ナキ様ナリ英、紐育ヘ轉電セリ

1272

昭和13年12月(18)日

在ニューヨーク若杉総領事より  
有田外務大臣宛(電報)

## 米国の対中クレジット供与に関する米国紙論

## 説報告

ニューヨーク

発

本省 12月18日前着

特情紐育第二九九號

米國政府力輸出銀行ヲ通シテ蔣政府ニ對シ二千五百萬弗ノ「クレヂット」ヲ供與スルニ決定シタコトハ米國ノ對日積極態度ヲ物語ルモノトシテ注目サレテ居ルカ「ニューヨーク・タイムス」紙ハ十七日ノ紙上ニ「米國ノ對支借款」ト題スル社説ヲ掲ケ右「クレヂット」ノ政治的重要性ヲ強調スルト共ニ中立法ノ改正ニ論及シテ次ノ如ク論シテ居ル米國政府力米國輸出入銀行ヲ通シテ支那ニ供與スルニ決定シタ二千五百萬弗ハ單ナル商業「クレヂット」テハナク殆

ト政府ノ直接借款ニ等シイモノテアル英政府モ亦對支輸出「クレヂット」ノ擴張ヲ考慮中テアルト言ハレルカ米國ノ右「クレヂット」カ去ル十月六日ノ米國政府ノ對日通牒中ニ暗示サレタ報復手段ノ第一歩テアルコトヲ考ヘル時右「クレヂット」ノ政治的意義ハ頗ル大ナルモノカアル更ニ同「クレヂット」ノ設定ハ日本ニ對シ米國ハ支那ニ於ケル門戸開放ノ原則ヲ擁護スル爲戰爭手段ニ訴ヘルコトハナイカ尙他ニ幾多ノ方法ニ依ツテ日本カ支那ニ於テ優越ヲ保持スルノヲ壓ヘントスル意嚮カアル旨ヲ通告シタモノト言ヘヨウ現行中立法ハ交戰國ニ對スル米國市民ノ金融ヲ禁止シテ居ルカ今同政府ハ自ラ右中立法ノ存在スルニモ拘ラス單ニ「支那事變ハ國際法上ノ戰爭ニアラス」トノ口實ノ下ニ「事實上」ノ交戰國タル支那ニ借款ヲ與ヘルニ至ツタモノテ米國ノ外交政策カ轉換シツツアルコトヲ物語ツテ居ル吾人ハ須ク此ノ新外交政策ニ即應スル様中立法ヲ改正スヘキテアラウ

1273

昭和13年12月18日

在英国重光大使より  
有田外務大臣宛(電報)

英国政府による対中貨物自動車輸出へのクレ

ジット設定がほぼ確実との報道報告

ロンドン 12月18日後発

本省 12月19日前着

第一〇二二號

十八日「サンデー、タイムス」外交記者ハ過日上院ニ於テ「プリマス」ノ言及シタル對支援助計畫既ニ實現ノ域ニ達シ差當リ貨物自動車類ノ購入ヲ主タル目的トシ四十五萬磅ノ對支信用設定ヲ見ルコト略確實トナレル模様ナルカ幣制崩壊阻止ノ爲國民政府ノ爲替平衡資金ニ使用ノ爲更ニ借款許與方考慮中ナル旨ヲ報道セリ眞相取調中



1274 昭和13年12月19日 在英國重光大使より  
有田外務大臣宛(電報)

英國の対中クレジットは対象がビルマルト  
で使用される貨物自動車であるとの報道報告

ロンドン 12月19日後発

本省 12月20日前着

第一〇二四號

一般的情報

往電第一〇二二號ニ關シ

十九日「タイムス」外交記者ハ本件信用ハ輸出信用法ノ下ニ於テ設定セラルヘキ資金中ヨリ支出セラルヘク右ハ蔣介石カ在支英國大使トノ會見ノ際懇願セルニ依ルモノナリ尤モ政府ニ於テハ一般的資金ノ供給ノ意嚮ナキモノノ如ク今回ノ五十萬磅ハ緬甸、中支間ノ道路ニ使用セラルヘキ貨物自動車其ノ他ノ供給ヲ主トスルモノナリト報ス



1275 昭和13年12月19日 在英國重光大使より  
有田外務大臣宛(電報)

対中クレジット設定は英國政府が米国と同調  
して対日牽制の姿勢を示したものと観測され  
るところ冷静対応方意見具申

ロンドン 12月19日後発

本省 12月20日前着

第一〇二七號

一般的情報

往電第一〇二四號ニ關シ

十九日外務省係官ハ新聞會見ニ於テ本報道ヲ肯定シ目下手續中ニ屬シ金額ハ五十萬磅ナリト述ヘタル趣ナリ情報ヲ綜合スルニ本件ハ輿論ノ執拗ナル要望ニ鑑ミ日本側ノ門戸閉鎖ニ對シ米國ト協同セル對日牽制ヲ主トスル「ゼスチュア」ノ範圍ヲ出テサルモノト觀測セラレ我方トシテ成ルヘク冷靜ニ取扱ヒ然ルヘシト思考ス



1276

昭和13年12月21日

在米國堀内大使より  
有田外務大臣宛(電報)

米國政府が対中クレジット設定や米中為替資

金供与協定の延長を決定した意図とわが方の

対処振りにつき意見具申

ワシントン 12月21日後発

本省 12月22日後着

第五八一號

往電第五七八號ニ關シ

一、十九日更ニ大藏長官ハ新聞記者會見ニ於テ客年七月米支間ニ成立ノ支那ニ對スル爲替安定資金供與ニ關スル取極(客年往電第二四二號<sup>電注</sup>御參照)ハ其ノ有効期間タル本年十

二月三十一日ヨリ更ニ或期間延長セラレタル旨發表シタルカ右ハ支那カ銀ノ賣渡ニ依リテ獲得シ米國ニ積立テ居ル金資金(大藏長官ハ右金額ノ發表ヲ拒ミタル由ナルカ支那カ賣渡セル銀ノ價格ハ一昨年以來本年七月中頃迄ノ間ニ約一億一千萬弗ニ達セルモノト推測セラレ其ノ相當部分カ金ニシテ積立テラレタルモノト認メラルトノ報アリ)ヲ引當トシ米國ヨリ支那ニ爲替資金ヲ供給スルモノニシテ右方法ノ運用ニ依リ米國ハ更ニ支那ニ「クレヂット」ヲ與フルコトナルヘシトシテ一般ノ注意ヲ惹キ居レリ

二、惟フニ米政府當局ニ於テハ支那ニ於ケル門戸開放問題ニ關スル日本ノ態度ニ鑑ミ單ナル文書ニ依ル申入ノ如キハ其ノ權益保護ニ資スル所ナシトシ英國トモ歩調ヲ合セ實際的措置ニ依リテ我方ノ態度變更ヲ計ラント考慮シツツアル模様ナルコトハ往電第五五八號及第五六七號申進ノ通りニシテ二千五百萬弗ノ對支「クレヂット」供與(紐育發貴大臣宛電報第四五四號御參照)及本件爲替資金供與協定延長ノ如キハ其ノ一ノ現レト認メラルル次第ナルカ之ニ對シテハ孤立主義者ヲ含ム當國一般ニ於テモ別段

反對ナク今後此ノ種措置ハ右以外ニモ實施セラルコトナキヲ保シ難ク延イテハ次期議會ニ於テ中立法ヲ修正シ侵略國ニ對シテノミ武器等ノ供給ヲ拒絕シ得ルモノトスヘシトノ議論ニモ氣勢ヲ添ヘルコトナラサルヤヲ惧ルル次第ナリ

三、本件ニ對スル我方ノ措置振トシテハ今後米資ヲ我ニ誘致スルノ必要アルハ申迄モナク又現ニ米ヨリ武器類及其ノ製造資材ヲ輸入シツツアル實情ニ鑑ミ正面ヨリ中立法精神違反等ノ理由ヲ以テ米國ニ衝突クコトハ得策ナラサルヘク十九日外國新聞記者トノ會見ニ於テ貴大臣ノ述ヘラレタル通り第三國ノ支那援助ハ結局事態ヲ長引カシメ平和ノ招來、第三國ノ權益保護ニモ惡影響アルヘシトノ趣旨ニテ現實ノ事態ノ下ニ於テハ第三國ノ對支援助力有害無益ナルコトヲ力說シ米國朝野ノ蒙ヲ啓クコト時宜ニ適スト認メラル

英へ轉電シ紐育へ暗送セリ

英ヨリ佛、獨、伊、蘇へ轉報アリタシ

編 注 『日本外交文書』昭和期Ⅱ第一部第五卷下第982文書。

1277

昭和13年12月23日

在英國重光大使より  
有田外務大臣宛(電報)

# 英國政府による対中クレジット設定の経緯に 関するリース・ロス内話報告

ロンドン 12月23日後発

本 省 12月24日前着

第一〇五六號

一般的情報

往電第一〇三四號ニ關シ

二十二日「リースロス」カ英國ノ對支信用供與ヲ決スルニ至レル経緯ニ付極秘トセラレ度シトテ加瀬ニ内話セル要旨左ノ通り

「英國政府トシテハ日本政府カ累次門戸開放ヲ保障セルニ拘ラス依然英國通商ニ差別待遇ヲ行ヒ且最近ニ至リテハ門戸開放ノ適用ヲ制限スル意嚮ヲ示サレタルヲ以テ「クレギー」ヨリ悲觀的報告接到シ居レリ」此ノ際隱忍政策ヲ維持スルモ何等事態ノ改善ヲ見サルヘキヲ認ムルニ至リ北支、中支ノ貿易ハ全然行詰リノ状態ニテ又揚子江ノ再開モ何日ノコトナルヤ見据付カス依テ殘サレタル唯

一ノ安全ナル通商路タル緬甸、雲南道路ヲ改修シ對支貿易維持ヲ計ル見地ヨリ先般來關係當業者トモ協議中ナリシカ近ク新聞報ノ如キ信用保障(多額ニアラス多分五十萬磅ヲ限度トスヘク三十萬磅位ニ止マルヤモ知レス)ヲ行フコトニ内定セルモノナリ

二、尙右ニ引續キ實ハ未タ決定ニハ至ラサルモ法幣下落ニ依ル貿易上ノ不便ヲ矯正スル目的ヲ以テ在支英國銀行筋ニ對スル援助ヲ考慮中ナリ尤モ目下ノ所支那政府ニ「フリ―、マネー」ヲ與フル意嚮ハ全然ナク專ラ對支貿易維持ノ見地ニ立チ對策ヲ研究シ居ル次第ナリ自分ハ法幣問題ニ付テハ何等ノ措置ニ出ツルニ先チ日本側ニ「アプロ―チ」スルヲ可トストノ意見ヲ上申シ居ルモ何分日本側ハ天津其ノ他ニ於テ法幣否認ノ態度ニ出テ居ルニ鑑ミ英國側トシテモ急速何等措置方ヲ要望スル向少カラス

三、日本側ハ蔣ヲ援助スルハ怪シカラヌトテ非難スルモ英國朝野ヲ通シ支那ヲ代表シ得ルモノハ蔣ノミニシテ之ト話合ヲ付ケサル限り戦局收拾ノ途ナク日本ハ結局屈服スル外ナシトノ意見有力ナリ

米へ轉電セリ

1278

昭和13年12月23日

在米国堀内大使より  
有田外務大臣宛(電報)

米國輸出入銀行の対中クレジット供与に關する  
米國復興金融会社總裁の發表について

ワシントン 12月23日後發

本 省 12月24日後着

第五九五號

「ジヨーンズ」ノ聲明ハ復興金融會社ヨリ右ノ形式ニテ發表セラレタルモノナルニ付右全文電報ス

Jesse Jones to-day announced that the Export Import Bank has authorized credits to the Universal Trading Corporation of New York up to \$25,000,000. The proceeds <sup>(will be)</sup> to be used in financing the exportation of American agricultural and manufactured products to China, and the importation of wood-oil from China. The loans will be guaranteed by the Bank of China and mature over a period of five years. The funds will be disbursed as needed.

Mr. Jones further announced that of the \$50,000,000 loan authorization to China in 1934, only \$17,105,385.80 was

used. In April 1937 a loan of \$1,600,000 was authorized for the purchase of locomotives in this country. This loan matures monthly over period of five years. In 1931 the Grain Stabilization Corporation sold China 15,000,000 bushels of wheat for a consideration of \$9,212,826.56.

All of these credits are now handled by the Export Import Bank.

The total actual disbursements for loans to China since 1931 have been \$27,051,412.36. \$14,419,892.36 has been paid and the balance is being paid as it matures. \$3,801,055.62, including interest, has been paid since September 30, 1937 the last payment having been made September 30, 1938.

編 注 本電報第五九五号は別電となっているが、その本電は

見当らない。

~~~~~

1279

昭和13年12月28日
有田外務大臣より
在米国堀内大使宛(電報)

米国の対中クレジット成立の裏には中国の執

拗な対米運動とそれに応じた米国財務長官の
中国に対する好意的態度があるとの情報通報

本省 12月28日発

第四〇〇號(極秘)

確實ナル筋ヨリノ情報ニ依レハ今回ノ米國ノ爲シタル對支
二千五百萬弗借款ハ一ニ「モルゲンソー」財務長官ノ力ニ
依リ成立セシメラレタルモノノ如ク支那側ハ同氏カ今夏訪
佛ノ際盛ニ口説キカケタルカ其後米國ニ於テ更ニ陳光甫一
行カ引續キ執拗ニ暗躍運動ヲ爲シタル結果遂ニ成功ニ到リ
タルモノニシテ蔣政府ハ「モ」ニ絶大ノ感謝ヲ捧ケ居ル模
様ナリ更ニ「モ」ノ支那ニ對スル好意的態度ハ右ノミニ留
マラスシテ佛印ノ武器輸送問題ニ就テモ大イニ盡力中ナル
趣ナリ即佛印ヲ通スル支那側ノ武器物資ノ輸出入ニ對シ佛
政府ハ之ヲ禁止若ハ制限ノ態度ヲ堅持シ來レル處支那側ハ
佛ニ泣付キ之カ撤廢方ヲ強要スルニ對シ佛側ハ日本ノ報復
手段ヲ恐レ容易ニ同意セス英米等カ充分ノ支持若ハ責任ヲ
分擔セサル限り佛ノミノ危險負擔ニ於テハ右ヲ爲シ得スト
ノ態度ヲ執リツツアルヲ以テ支那側ハ之ヲ英米ニ訴ヘテ英
米ヲ通シテ佛ヲ動かサントシツツアルモノノ如ク「モ」ハ

本件ニ關シテモ進シテ盡力シ居ル趣ナリ何等御參考迄
英、佛ニ轉電セリ

1280

昭和14年1月11日

在ニューヨーク若杉総領事より
有田外務大臣宛(電報)

米国の対中クレジットは中国から輸入される
桐油を担保とし輸入額に応じて信用が供与さ
れるとの情報報告

ニューヨーク 1月11日後発

本省 1月12日前着

第一四號(極秘)

當館使用中ノ「ライト」カ商務省内外通商局金融課長の
Jones 氏内聞セル所ニ依レハ(出所極秘)今次ノ二千五百
萬弗ノ對支借款ハ全額ニ對スル物資ヲ一時ニ供給スルモノ
ニハナラスシテ支那側カ具體的ニ利用シ得ル金額ハ「ユニ
バーサル、トレイディング、コーポレイション」又ハ
Wah Chang Trading Co. (「ケー、シー、リー」商會)カ當
國ニ輸入シ得ヘキ支那產品主トシテ桐油ノ額ニ對應スル趣
ナリ從テ又本借款ニハ將來輸入セラルヘキ桐油以外別段物

的擔保ハナキモノト認メラル御參考迄
米ニ暗送セリ

1281

昭和14年3月6日

在英国重光大使より
有田外務大臣宛(電報)

法幣安定を目的とする対中為替平衡資金設定
につき英國政府が議會手續きを進行中との報
道報告

ロンドン 3月6日後発

本省 3月7日前着

第二一四號

一般的情報

六日「デイリー、テレグラフ」外交記者ハ西班牙内亂終了
ニ近ツクト共ニ政府ハ先週來日支事變ノ終結促進ニ注意ヲ
拂ヒ居レルカ幣制維持ノ爲ニスル對支借款ノ報道ハ之ヲ裏
書ス右額ハ大體三百萬乃至五百萬磅ニシテ之ヲ以テ日本ノ
法幣切崩政策ニ對抗セントスルモノナルカ政府ハ近ク必要
ナル議會手續ヲ執ルモノノ如シ對支借款(二千萬磅ト稱セ
ラレタリ)ハ政府ニ於テ客年七月審議セルコトアルモ當時

ハ歐洲ニ危機切迫ノ際ニモアリ日本ヲ刺戟スルハ不得策ナリトノ見地ヨリ具體化セサリシ次第ナルカ今般輸出補償法ノ成立ニ引續キ政府カ米國ノ對支信用設定ト呼應シ此ノ舉ニ出テタルハ英國カ今ヤ自信ヲ以テ極東問題ニ對處セントシツアルヲ物語ルモノナリト報セリ本件ニ關シテハ真相取調中ナルモ不取敢

1282

昭和14年3月9日

在英國重光大使より
有田外務大臣宛(電報)

英國政府の対中為替平衡資金設定は同国の対日態度を明確に示したものでありわが方も正々堂々と論難すべき旨意見具申

ロンドン 3月9日後発

本省 3月10日前着

第二二七號

今回英國政府ノ決定セル對支財政援助ハ八日議會ニ於ケル「サイモン」藏相ノ説明振ニ依リテモ明カナル如ク日本ニ付テハ何等言及セス表面上日本ヲ刺戟セサルニ努メ居レルモ日支事變ニ關シ英國政府ノ對日態度ヲ明確ニセル一點ニ

シテ之ニ對シテハ日本側トシテハ此ノ際飽迄正々堂々ト論難スル様御指導相成様致度シ

1283

昭和14年3月9日

在英國重光大使より
有田外務大臣宛(電報)

英國の対中為替平衡資金設定に関する新聞論
調報告

ロンドン 3月9日後発

本省 3月10日前着

第二三〇號

一般的情報

法幣平衡資金設定ノ發表ニ件ヒ支那公債ハ急騰セルカ九日社説ヲ掲ケタルハ「フイナンシャル、ニュース」及「クロニクル」ニ過キス但シ各紙共詳細ナル説明ヲ加ヘ

(一)官邊ニ於テハ反日的措置ニアラサルコトヲ強調シ居レリ本件カ日本ノ北支爲替管理強行ノ數日後公表セラレタルコトハ偶然ノ符合ニ過キス數個月來極祕裡ニ交渉進捗ヲ見居リタルモノナリ

(二)本件ハ別ニ焦眉ノ急ニハアラサルモ昨年度多額ノ軍需品

1284

昭和14年3月10日

英国の中国法幣支援に関する情報部長談話

購入ニ依リ支那側手持爲替相場缺乏ヲ來シ居リ今次措置ハ時宜ニ適シタルモノナリ之ニ依リ法幣ハ安定スヘシ

(三)本資金ハ支那ノ軍事目的ノ爲ニ流用セラレス又右使途ハ上海ニ設定セラルヘキ銀行、政府代表者ヲ以テ組織スル委員會ニ依リ決定セラルヘシ銀行筋ニ於テハ右資金ノ設定ナクシテハ軍需品購入ノ爲法幣ノ平價切下ヲ餘儀ナクセラルヘキ立場ニ在リタルニ鑑ミ本件カ結局間接ニハ軍事目的ニ利用セラルルト等シキ旨ヲ指摘シ居レリ

(四)支那ノ外債返還問題モ亦好轉スヘク本件ハ寧口自衛的措置ニシテ支那ハ「スターリング、ブロック」ノ一員同様トナリ法幣ニ對スル不安除去サルヘク日本トシテモ之ヲ非難スル理由ナシ

(五)本件ハ英國權益保護ニ止マラス更ニ對日牽制上大ナル意義アリ(「フイナンシャル、ニュース」及「クロニクル」)等ト論シ居レリ



英國ノ支那法幣支援ニ關スル情報部長談(三月十日)

蔣介石政權ノ在外正貨ハ支那事變勃發以來次第ニ減少シテ昨年六月末ニハ僅ニ二億五千萬法幣弗シカナカタ、夫レカラ今日迄八ヶ月ヲ經過シタカラ夫レトテ殆ト遣ヒ果シタコトテアラウ。法幣ニモ愈々斷末魔力來タノテアル。其證據ニハ最近蔣政權ハ今日迄アレ程克明ニ凡ユル犠牲ヲ忍ムテ支拂ヲ繼續シ來ツタ外債ノ元利支拂ヲピタリト停止シテシマツタノテアル、之ハヨクヨクノ事テアラウ。斯様ナ次第テ對外爲替ハ一落千丈ノ危險カホノ見ヘ初メタ。扱テコソ英國力愈々一千万磅ノ平衡資金設定ニ乗出シテ來タノテアル。

現在支那奥地ニ流通スル法幣ハ大略十七億萬法幣弗ト推算サレル、今テハコレヲ保證スヘキ正貨モ貿易モ信用モ持チ合セテキナイ、夫レニ對シテ一千万磅ノ平衡資金供與ハ渴者ニ對スル一杯ノ水テアリ蔣政權ハ非常ナ感謝ヲ以テ之ヲ迎ヘルテアラウカ然シ乍ラ此ハカリノ僅少ノ額テハ何程ノ效果モアルマイ。且又法幣ノ衰弱ハ蔣介石政權ノ連戰連敗ニ依ツテ軍事上、政治上殊ニ經濟上ノ重要地點ト地域トヲ失ツタ事カ最モ大キナ原因ヲナシテ居ル、從ツテ狂瀾ヲ既

倒ニ返ス事力出来ナイ限り法幣ノ命脈ハ所詮ハ盡キルモノト云ハネハナラヌ。カホトノ法幣ニ援助資金ヲツキ込ム事ハ瀕死ノ病人ニ「カンフル」注射ヲスルヤウナモノタラウ。敢テ問題トスルニハ當ラヌノテアル。

只問題トスヘキハ英國力法幣強化ニ乗出シタ動機ハ奈邊ニアリヤノ點テアル。

英國政府ノ對支政策ハ東亞舊秩序ヲトコ迄モ取り戻サウト云フ處ニアル、是ハ大勢逆行テアリ英國ノ東亞政策ノ根本的誤謬テアル。聰明ナル英國政治家力早ク此點ニ氣附ク事ヲ希望スル、左様十次第テアルカラ英國政府ハ、首相藏相等ノ議會答辯ノ方法ニ依リ既ニ今日迄一再ナラス蔣政權援助ノ意圖ヲ明カニシテキルカ、本件モ亦其一具現ト斷スルノ外ナイ、若シ「サイモン」藏相ノ云フカ如ク支那通貨ノ安定力英國ノ對支經濟金融政策上ノ重大問題テアリ支那ニ於ケル英國ノ企業ト貿易トニ大ナル援助ヲ與フルコトナルトセハ、須ク東亞ノ大勢ヲ洞察シテ減ヒユク法幣ヲ新興通貨ニ乘リ換ヘテ其安定ニ協力スヘキテアラウ、其決意タニツケハ乘リ換ヘノ圓滑ナル方法ハ自ラ見出サルルテアラウコトヲ確言スル。

編 注 本文書は、昭和十四年十二月、情報部作成「支那事變

關係公表集(第四號)」から抜粋。

~~~~~

1285

昭和14年6月6日

在英国重光大使より  
有田外務大臣宛(電報)

英中貿易促進のための委員会が設置され対中  
クレジット設定をめざして英中協議が進行中  
との情報報告

ロンドン 6月6日後発

本 省 6月7日前着

第五九八號

今般英支間ノ經濟貿易促進ヲ計リ支那生産物ノ英國其ノ他  
ヘノ販路開拓ヲ幫助スルト共ニ支那政府及地方政廳ノ英國  
製機械其ノ他ノ購入ニ關シ指導監督ヲ與フル目的ヲ以テ在  
英支那大使其ノ他英支兩國人ヲ委員トスル支那政府貿易委  
員會設置ヲ見タル趣ノ處獨逸通信員カ「リースロス」ノ友  
人ヨリ聞知セル趣ヲ以テ内報スル所ニ依レハ英國政府ハ近  
ク對支輸出業者ニ對シ缺損ノ七割五分ヲ補償スル仕組ノ下

二三百萬磅ノ資金ヲ設定スル模様ニテ右ニ關スル交渉ハ目下支那大使館トノ間ニ進捗中ノ由ナリ

1286

昭和14年7月28日

在香港田尻総領事より  
有田外務大臣宛(電報)

英国輸出補償法に基づく対中借款説など英国  
の対中積極援助に関する伊国総領事の内話情  
報報告

香港 7月28日発

本省 7月28日着

第一〇一二號

重慶路透ノ三百萬磅借款成立宣傳ニ對シ倫敦ハ之ヲ否定シ居ル處伊太利總領事ノ極秘情報ニ依レハ二十五日英外相ハ政廳ヲ通シ宋子文ニ對シ例ノ如ク紐育筋ヨリ英蘭銀行ニ對シ保障アラハ第四號取引(本件輸出補償法ニ依ル借款ト推察セラル)ヲ成立セシムル用意アリ英ノ對支政策ニ變化ナキ旨又二十七日英ハ對支軍需品輸出ヲ繼續スヘク滇緬聯絡ニ對シテハ充分考慮スヘシ尙對支積極援助ハ英佛蘇會談ノ主要議題ナル旨傳言セシメ居ル由本情報ノ出所ハ政廳ナリ

ト言フモ疑惑アリ更ニ探查中ナルモ不取敢(發表見合アリタシ)

北京、上海、廣東へ轉電セリ

1287

昭和14年8月2日

有田外務大臣より  
在英国重光大使宛(電報)

英国輸出補償法に基づく対中借款の実施につ  
き日英東京會談での一般原則合意との關係を  
クレーギー大使弁明について

本省 8月2日発

第二二八號

一、客月二十九日東京會談ニ關スル會議外會見ニ際シ加藤公使ヨリ「クレーギー」大使ニ對シ先般日英間ニ成立シタル一般原則(同カ)ニ關スル聲明ノ趣旨ヨリスレハ近時坊間ニ流布セラレ居ル英國ノ對支借款等ノコトカ實行セラルルコトハ之ナキ筋合ト確信シ居リ有田大臣ニ於テモ此ノ點ニ特ニ注意ヲ拂ヒ居ル次第ナル旨述ヘタルニ對シ大使ハ私見ニ依レハ全ク其ノ通りニテ眞逆對支借款ノ如キコトカ考慮セラレ居ルモノトハ到底信セラレス尤モ有田大臣ノ

御<sup>(電)</sup>態念モアリタルコトナレハ一應本國政府ニ質シ見ルヘ  
シト答ヘタル經緯アリ

二、八月一日大使ヨリ加藤公使ニ對シ只今倫敦ヨリ回電アリ  
タルカ英國政府ニ於テハ何等ナル對支借款ヲ考慮シ居  
ラサルコト明トナリタルカ唯本年三月六日ノ海外貿易相  
ノ聲明ニ基ク土耳其、羅馬尼及支那ヲ主タル賣捌キ先ト  
スル輸出保障ヲ英國製造業者ニ與フル件カ最近技術的及  
法規的ノ準備整フニ至リ近ク之カ實施ヲ見ルコトナル  
ヘキ由ナリ本件ハ八月一日ノ議會ニ於テ問題トセラルル  
豫定ニシテ政府側ヨリ前記ノ趣旨ニテ答辨ヲナスコトト  
ナリ居レルカ日本側ニテ特ニ御注意願度キ點ハ本件カ夙  
ニ本年三月ニ決定シ居リタル措置ニ過キサルコト及輸出  
品ノ中ニハ武器ヲ除外シアルコトナルカ日本政府ニ於テ  
吳々モ誤解ナキヤウ願度シト説明セリ

三、右ニ對シ加藤公使ヨリ御説明ハ承リタルモ兎ニ角今次一  
般<sup>(附カ)</sup>原側聲明ニハ副ハサル筋ト認メサルヲ得ス面白カラサ  
ルコトト存セラルルモ外務大臣ニ報告シ置クヘシト應酬  
シ置キタル趣ナリ

不取敢米ニ轉報アリ度

北京、天津、上海、南京、廣東ニ轉電セリ  
廣東ヨリ香港ニ轉報アリタシ

1288

昭和14年8月3日 有田外務大臣より  
在英國重光大使宛(電報)

對中新借款の實施は日英東京會談での一般原  
則合意に反する旨をクレイギー大使に注意喚  
起について

本省 8月3日発

第二二三號

往電第二二八號ニ關シ

二日加藤公使、「クレイギー」大使ト會見ノ際本大臣ニ報  
告シタル結果ナリトシテ昨日御説明ノ通り實質上輸出補償  
ニ過キス且右ハ既ニ方針決定セラレ居リタルモノナリトス  
ルモ今回ノ一般<sup>(附カ)</sup>原品聲明アリタル以上英國政府ニ於テ之カ  
實施ヲ差控フルコト筋途ニ副フ所以ナルヘク殊ニ其ノ時機  
ヲ得サルモノニシテ日本輿論ニ屬シ<sup>(對カ)</sup>刺戟ヲ與フル點ニ鑑ミ  
我方トシテハ嚴重貴方ノ注意ヲ喚起シ度シトノ趣旨ヲ強調  
シタルニ屬シ<sup>(對カ)</sup>大使ハ自分トシテハ貴方ノ言ハルル所ハ心理

的政治的見地ヨリスレハ了解シ得ラルルモ英國政府ノ立場ハ斯クスクナリトテ冒頭往電ニ、後段ノ趣旨ヲ繰返シ陳辯シタルヲ以テ公使ヨリ前記我方ノ主張ヲ更ニ強調シ置キタリ

米ニ轉報アリ度シ

北京、天津、南京、廣東、上海ニ轉電セリ

廣東ヨリ香港ニ轉報アリ度シ

~~~~~

1289

昭和14年8月9日

在米國堀内大使より
有田外務大臣宛(電報)

米政府の中國現銀購入契約成立に関する新

聞報道報告

ワシントン 8月9日後発

本 省 8月10日後着

第七九二號

「八日華府「ポスト」ハ左記趣旨ノINS「フイリツモリ

ス」通信ヲ掲ケタリ

米政府ハ先週六百萬「オンス」ノ支那銀買上ヲ契約シタ

ル趣ノ處大藏省側ニテハ右ニ關シ一切註釋ヲ避ケ居ルモ

右價格ハ約二百萬弗ニ達スルモノト解セラル一部外交通ノ言ニ依レハ右銀カ日本側ニ沒收セラルル危險ヲ脱シタル公海ニ運輸セラレタルコトヲ大藏省カ確メタル上ニテ公式ニ右契約ヲ確認スル筈ナル趣ナリ又右銀買上ハ日本カ法幣ニ加ヘタル壓力ヲ幾分緩和シ日英東京會談ニ於テ英カ日本ニ交戦權類似ノ權利ヲ承認セシコトニ依リ沮喪セル支那民心ヲ鼓舞スル機宣ノ措置ニシテ大藏省ノ企圖スル所ハ蔣ニ對シ外貨ニテ必要ナル軍需品ヲ供給セシメントスルニ在リテ米ハ之ニ依リ日本ノ支那侵略ニ全ク反對ナル旨ヲ表明セルモノト見ラレ居レリ云々

二、九日紐育「ヘラルド、トリビューン」ハ通貨問題ニ關スル上海電ヲ掲ケ本件銀買上ニ言及シ金融情勢ニ明ルキ外人筋ノ見ル所ニテハ重慶政府ノ二百萬弗銀賣却ハ九牛ノ一毛ノ價值ニ過キス事態收拾ノ爲ニハ不充分ナルト共ニ日本側カ法幣ヲ排斥シ保障ナキ紙幣ヲ導入セルコトニ對スル米政府ノ抗議モ法幣カ激落シ日本系統制通貨ノ流通ヲ促進シツツアル現狀ニ鑑ミ全ク無効ト見ラレ居ル趣ヲ報シタリ

~~~~~

昭和14年12月27日

在ハノイ鈴木総領事より  
野村外務大臣宛(電報)

## 昆明・叙州間鐵道建設のための中仏借款成立

## に関する報道報告

付記 昭和十五年四月三十日発在英国重光大使より

有田外務大臣宛電報第六八三號

右借款内容に関する对中国四国借款团仏国側  
よりの通報について

ハノイ 12月27日後発

本省 12月27日夜着

## 第二四九號

貴電第一一八號ニ關シ

當地二十日附「ハノイ、ソワール」ハ英國側放送ノU、P、  
十九日附重慶電トシテ佛國銀行團ノ昆明、叙州間七百二十  
料鐵道敷設ニ要スル對支借款成立ノ記事ヲ掲ケ居ル外又十  
三日附雲南日報ハ右敘昆鐵道佛支借款カ(イ)全部同鐵道建設  
費ニ充テラレ(ロ)同鐵道ノ全財産及鹽稅剩餘ヲ抵當トシ(ハ)技  
術者ハ總テ支那側ヨリ派出スルト共ニ(ニ)將來右鐵道管理ニ  
對シテハ佛國側ハ參加セサルコト等ヲ條件トシテ川滇鐵路

公司總經理沈<sup>○</sup>昌<sup>○</sup>二箇月前ヨリ重慶ニ於テ佛側ト談判ノ上成  
立セルモノニシテ最高國防會議通過ヲ俟チ正式效力ヲ發生  
スル旨報シ居レルカ更ニ二十五日附同日報ハ右借款額ハ一億  
八千萬法(四億八千萬法ノ誤カ)且右條件ハ從來支那鐵道借  
款ニ見サル公平ナルモノトシテ其ノ成功ヲ喜フト共ニ戰時  
關係ノ向ヘ轉電及通報アリタシ

佛ヘ轉電セリ

「タイ」、西貢、新嘉坡ヘ暗送セリ

## (付記)

ロンドン 昭和15年4月30日後発  
本省 昭和15年5月1日前着

## 第六八三號

佛蘭西對支鐵道契約(Kunming-Suifu Railway Contract)ニ關  
シ對支借款團「アパス」カ佛蘭西側ヨリ右契約ノ内容ヲ承  
知セル趣ヲ以テ加納宛右内容ヲ借款團員ニ對スル親展情報  
トシテ左ノ通り通知越セリ(本文郵送ス)

本契約ハ客年十二月十一日重慶ニテ重慶政府ト Chinese



Development Finance Corporation (Banque de Paris et des Pays-bas, <sup>(Lazard #)</sup> Lazyd freres 4. cie, Banque de l Indo-chinoise pour le commerce et l'industrie) トノ間ニ調印セラレ本年

三月一日巴里ニテ批准同日效力ヲ發生セリ「フランコ、チャイニーズ、グループ」ハ重慶政府ニ對シ本件鐵道建設ノ爲四億八千萬法迄ノ材料ヲ供給スルニ對シ重慶側ハ同政府カ無條件保證セル關稅剩餘擔保ノ約束手形ヲ交付ス

右手形ノ支拂期間ハ十五年トス尙供給材料中支那ニ輸入セラルル分ハ全部佛蘭西產タルヘク佛蘭西旗ノ下ニ輸送セラレハシ尙又佛蘭西側ノ見解ニ依レハ本件ハ一般ニ公募セサルヲ以テ對支借款團ノ活動範圍外ニシテ借款團ノ條件ト矛盾スルモノニ非ストノコトナリ British and Chinese Corporation ハ佛蘭西側ヨリ契約加入ノ勸誘ヲ受ケタルヲ右手形ノ期間カ英國ノ「エクスポート、クレジット」ノ制限ヲ越ユル爲參加シ得サリシ趣ナリ  
佛ヘ暗送セリ

1291

昭和15年2月8日

在米国堀内大使より  
有田外務大臣宛(電報)

対中新規借款に関する米国政府当局者の發言  
振りについで

ワシントン 2月8日後発  
本省 2月9日後着

第一六七號

往電第一六一號ニ關シ

輸出入銀行融資限度増加案ノ審議ニ際シ「ジョーンズ」聯邦貸付監督官ハ對支二千五百萬弗借款ハ桐油ノ輸出ニ依リ償還セラレツツアル處目下交渉進行中ノ新規借款七千五百萬弗ニ付テハ支那側ハ錫ノ輸出ヲ之ニ引當テントシ居ル旨言明セル趣ナリ  
紐育ヘ郵送セリ

1292

昭和15年3月7日

在米国堀内大使より  
有田外務大臣宛(電報)

中国などに対する新規借款供与を米国政府発  
表について

付記

昭和十五年三月十四日付、ロンドン發同盟電

報特情倫敦第二七号

対中借款問題に関する英國外務次官の議會答  
弁

ワシントン 3月7日発

本 省 着

第三二九號

往電第三〇三號ニ關シ

七日聯邦貸附管理官ハ輸出入銀行ハ支那ニ二千萬弗丁抹ニ  
一千萬弗「アイスランド」ニ百萬弗ノ「クレヂット」ヲ供  
與スルニ決シタル旨記者會見ニテ言明セリ

(付記)

昭和十五年三月十四日倫敦發同盟

特情倫敦第二七號

十三日英國下院ニ於テ英國ノ對支借款問題カ取上ケラレ  
「バトラー」外務次官ト各議員トノ間ニ次ノ如キ質疑應答  
ガアツタ

「ロバーツ」議員(労働黨)

最近米國輸出入銀行カ支那ニ對シ二千萬弗ノ借款ヲ供與ス  
ルコトニ決定シタ事實ヲ政府ハ承知シテ居ルカ而シテ政府

ハ國際聯盟ノ決議ニ基キ對支援助ノ爲英國モ同様ノ方策ヲ  
採ル意嚮ハナイカ

「バトラー」次官

御質問中第一ノ點ニ關スル交渉ハ進捗中ノ様デアル第二點  
ニ關シテハ政府ハ聯盟ノ決議ニ基ク義務ヲ充分ニ了知シテ  
居ル政府ハ現下ノ困難ナ情勢下ニ於テ出來得ル限り其義務  
ノ履行ニ努メテキル

「ロバーツ」議員

昨夏英國政府カ支那ニ對シ設定シタ三百萬磅ノ輸出「クレ  
ディット」カ未タ全部ニ供與サレテ居ナイト傳ヘラレテ居  
ルカ眞實デアルカ又現在ソノ他ノ方法テ支那ニ援助ヲ與ヘ  
ルコトハ可能デアルカ

「バトラー」次官

支那ニ援助ヲ與ヘルコトノ重要性ハ政府モ充分承知シテ居  
ル所デアル昨夏ノ三百萬磅ノ「クレディット」ニ付テハ勿  
論全好供與サレル筈テ此ノ點ニ付テハ疑念ハ存シナイト思  
フ

1293

昭和15年3月8日

有田外務大臣より  
在米国堀内大使宛(電報)

米国が対中借款を行えば日本政府は非友誼的  
行為と見なす旨を情報部長が外国人記者会見  
で発表について

本省 3月8日発

第一〇三號

貴電第三二一號ニ關シ

本件ニ關シテハ八日ノ外人記者會見ニ於テ質問アリタルニ  
答ヘ米國力蔣側ノ借款申込ニ應シ貸出ヲ行フ場合ニハ帝國  
政府ハ之ヲ我方ニ對スル非友誼的行爲(unfriendly act)ト  
看做スヘキ旨情報部長ヨリ説明シ置キタリ

~~~~~

1294

昭和15年7月12日

在香港岡崎總領事より
有田外務大臣宛(電報)

中国産品の主要輸送路たる仏印ルートの停止
により対中クレジット設定が困難となりつつ
ある旨李思浩内話について

第三六一號

十二日李思浩ノ館員ニ對スル内話左ノ通り

「中國銀行祕書ニ依レハ宋子文ハ同銀行ニ對シ「ルーズベ
ルト」ハ同人ノ借款懇請ニ對シ支那側カ若シ償還ニ充ツ
ヘキ支那土貨ノ圓滑ナル輸出方法ヲ考ヘ出セハ民間ニ幹
旋シ見ルヘシト答ヘタル旨電報越セル由ナルカ曩ノ陳光
甫借款モ主要輸出路タル佛印ヲ封鎖サレタル爲事實上役
ニ立タサルコトト成リタルニ顧ミ今度モモノニナラサル
ヘシ尙前回ノ借款ヨリ現金ヲ獲得セントセル交渉モ結局
駄目トナレリ

「、當地中國交通農民銀行ハ規模ヲ最小限度ニ縮小シ職員ノ
大部分ヲ奧地ニ移ス模様ナルカヨウタクドウハ渡米ノ筈
又王正廷及顏惠慶ハ先日馬尼刺ヘ赴ケリ

「、數日前重慶ヨリ歸香ノ許世英ニ依レハ政府機關及要人連
ノ住宅等目立チタル建物ハ七割方爆破サレ役人連ハ毀殘
リ部屋ニテ執務中ナルモ殆ント毎日數時間防空壕ニ閉込
メラレ疲勞甚タシク又防空壕モ破壊サレタルモノ相當多

香港 7月12日後發
本省 7月12日夜着

キモ死傷者ハ客年度ニ比シ少シ蔣介石ハ元氣ニテ罹災民
救護現狀ヲ見廻ルコトアリトノコトナリ

一、英本國カ獨逸ニ遣ラレ又ハ其ノ他ノ事情ニ依リ香港ノ治
安カ不安トナレル場合最モ恐ルヘキハ共產黨ニシテ其ノ
勢力ハ可ナリ大ナリ政廳ノ大袈裟ナル防禦工事ハ之ニ備
フル意味モアリト想像セラル云々

支、上海、廣東ヘ轉電アリタシ



1295

昭和15年9月27日

在米國堀内大使より
松岡外務大臣宛(電報)

米國輸出入銀行の対中借款決定などに関する

新聞報道報告

付 記 昭和十五年十二月一日付、特情電報

対中新規借款に関する米國政府発表

ワシントン 9月27日後発

本 省 9月28日前着

第一五五三號

二十五日「ジョーンズ」聯邦貸付管理官ハ輸出入銀行ヨリ
支那ニ對シ二千五百萬弗ノ借款ヲ供給シ右ト引替ニ米礦物

貯藏會社ヲ通シ三千萬弗「タングステン」ヲ購入スヘキ旨
發表(「テクスト」華府特情第一〇號ニ依リ御承知アリタ
シ)セル處二十六日紐育「タイムス」ハ官邊筋ヨリノ情報
ニ依レハ宋子文ハ一億弗ノ借款ヲ要求セルカ「モーゲンソ
ー」大藏長官ハ斯ル金額ハ二億弗ノ前記銀行融資資金(往
電第二九一號參照)ヨリハ支出不可能ナル旨述ヘタルヲ以
テ新借款ハ「ラテンアメリカ」諸國ニ充テラルヘキ五億弗
ノ新増加額(往電第一五二〇號參照)ニテ賄ハルルモノナル
ヘク當地外交界ニ於テハ本件カ果シテ日本ノ東亞新秩序建
設計畫ヲ挫折セシメ得ヘキ多大ノ(脱?)今次借款ハ日本側ヨ
リ非友誼的行爲ト見ラルルコトヲ承知ノ上ニテ爲サレタル
對支補助ナリト一般ニ解釋サレ居ル旨報スルト共ニ(イ)米ハ
過般ノ「ハル」國務長官及「キーン」濠洲公使ノ會談ニ於
テ英ニ對シ「ビルマ」道路ノ再開ヲ要請セルコト(ロ)「ハー
ト」米東洋艦隊司令長官ハ緊急ノ際ニ於ケル在本邦支那及
滿洲國米國人ノ引揚ヲ考究シ居ルコト(ハ)「グルー」駐日米
大使ノ引揚カ噂セラレ居ルコト(ニ)日本ノ對米金輸出額ハ一
千九百三十七年度二億四千六百萬弗ナリシカ本年度現在ニ
於テハ七千五百萬弗ニ留リ右ハ日本カ漸次弱リ居ルヲ示シ

居ルコト(ホ)屑鐵其他重要物資ノ對日禁輸カ豫想セラレ居ルコト等併七報シ居レリ尙輸出入銀行融資法ニ依レハ一國ニ對スル融資額ハ二千萬弗ヲ限度ト爲シ居リタルモ過般議會ヲ通過シ二十六日大統領ノ裁可セル輸出入銀行融資限度五億弗増加法ニ依リ右制限ヲ撤^(廢カ)排セリ

(付記)

特情

十五年十二月一日

◎法幣安定資金提供ハ議會デ審議中

Ⅱ「ホワイトハウス」公表Ⅱ

「ワシントン」卅日發同盟「ルーズヴェルト」大統領ハ卅日對重慶追加借款供與ガ決定セル旨發表シタガ、「ホワイト・ハウス」當局ハ同日右借款ノ成立ニ關シ詳細ヲ發表スルト共ニ未決定分ノ五千萬弗モ既ニ議會ノ討議ニ附サレテナル旨次ノ如ク明カニシタ

米支兩政府當局間ノ經濟的協力ハ最近著シキ進展ヲ見、總額一億弗ノ對支追加借款ガ考慮サレルニ至ツタ、コノ中一般の物資購入資金五千萬弗ハ既ニ決定ヲ見、殘ル五

千萬弗モ法幣安定資金竝ビニ米支爲替平衡資金トシテ供與サレルコトニナリ目下議會ノ委員會デ審議中デアルナホ之ト同時ニ「ジョーンズ」融資局長官ノ大統領宛書簡モ發表シタガソノ内容ハ次ノ如クデアル

米國政府ハ現下ノ國家的危機ニ對處スベク國防強化ニ必要ナル戰時資材ヲ獲得スルタメ復興金融會社ノ子會社タル金屬貯藏會社ニ命ジ重慶側資源開發委員會ヨリ總額六千萬弗ノ「ウォルフラム」鑛、「アンチモニー」、錫等ヲ今後數年間ニ亘ツテ購入セシムルコトナリ、ソノ支拂ハ物資購入ノ都度市價ニ應ジテ行フコトニナツテキル。

又重慶側今日ノ經濟狀態ヲ援助スルタメ輸出入銀行ハ總額五千萬弗ノ追加借款ヲ中國ノ中央銀行ノ保證ニヨリ供與スルコトナリ、之カ償還ハ前記契約ニヨル重慶側ヨリノ物資輸入ニヨツテ行フコトナツタ、尙コノ輸出入銀行ニヨル追加借款ノ供與ハ米財務當局ニヨル對支援助ノ五千萬弗ノ借款ト關聯シテ米財務省トノ協力ノ下ニ行ハレルモノデアリ之ニヨリ米ノ對支借款ハ總額一億弗ニ上ル譯デアル、尙大統領ハ桐油、錫等ノ支那特產物ノ賣却ヲ條件ニ設定サレタ過去ノ借款ニ對シ重慶政府ハ遲滯

ナク之等特産物ヲ米國ニ向ケ引渡シツツアルコトニ満足
サレルデアラウ

ナホ「モーゲンソー」財務長官ハ二日上院銀行委員會ニ財
務省ノ管理スル金融安定資金ノ一部ヲ法幣援助ノタメ使用
スルコトヲ提案スル豫定デアル

~~~~~

1296

昭和十五年十二月十日  
在英國重光大使より  
松岡外務大臣宛(電報)

### 英國政府の対中新規借款に關し英國外務次官

より通報について

付記一 昭和十五年十二月十一日付、ロンドン發同盟

電報

右借款に關する英國外務次官の議會答弁

二 昭和十六年四月二十六日付、ワシントン發同

盟電報

法幣安定資金供与に關する米中協定・英中協  
定調印に際し發出された各ステートメント

ロンドン 12月10日後發

本 省 12月11日後着

第一九〇九號(至急)

十日朝「バトラー」ヨリ聯絡者ヲ通シ米國ノ對支借款ニ追  
隨シテ英國モ支那ニ對シ五百萬磅ノ借款及五百萬磅ノ「ク  
レヂット」ヲ供與スルニ決シタルカ其ノ趣旨ハ同日議會ニ  
於テ爲スヘキ聲明ノ辭句ノ通りニテ右以外ニハ何物モナキ  
次第二付右聲明ヲ熟讀セラレタキ旨特ニ本使ニ傳達シ來レ  
リ聲明全文特情ニテ電報ス

(付記一)

昭和十五年十二月十一日倫敦發同盟

英政府ハ十日蔣政權ニ對シ一千萬磅ノ借款ヲ供與スルニ決  
定シタガ「バトラー」外務次官ハ十日下午院ノ質問ニ應ヘテ  
右借款供與ヲ確認シテ左ノ如キ言明ヲ行ツタ

米國政府ハ援蔣追加借款供與ヲ聲明シタガ英國政府モ蔣  
政權ニ對シ更ニ財政的援助ヲ與ヘルニ決定シタ。勿論英  
國政府トシテ金竝ニ「ドル」資金ヲ保有スルコトガ必要  
デアルタメ蔣政權ニ對シテ米「ドル」乃至米「ドル」ト  
交換シ得ル磅貨ヲ提供スルコトハ出來ナイ、然シ支那ニ  
アル磅貨ヲ磅「ブロック」内ノミデ使用スル様ニ出來ル

ナラバ英政府ハ原則トシテ五百萬磅ヲ法幣安定資金ニ提供シ更ニ關係自治領政府ト協同シテ五百萬磅ノ範圍内デ「クレデイト」ヲ與ヘル準備ヲ有スルモノデ既ニ蔣政權ニ對シ通告シタガソレト同時ニ可急の速カニ技術的協定交渉ノタメ何等カノ取極メヲ行フ様ニツイフコト及ビコノ交渉ノ如何ニ今次借款ノ成否ガ懸ツテキルトイフコトヲモ報告シタ。

# (付記二)

昭和十六年四月二十六日華府發同盟

米支兩當局ハ法幣安定資金五千萬弗供與協定ニ關シ折衝ヲ續ケ來ツタガ、廿五日「モーゲンソー」財務長官、宋子文特使トノ間ニ調印ヲ見、同日英國モ亦五百萬磅ノ對支法幣安定資金供與協定ノ正式調印ヲ了シタガ、「モーゲンソー」財務長官及宋子文特派使節ハ廿六日右法幣安定資金供與協定ニ關シ共同「ステートメント」ヲ發表、「ハリファックス」駐米英大使モ亦同時ニ同趣旨ノ「ステートメント」ヲ發表シタ、ソノ内容左ノ如シ

## (1) 共同「ステートメント」

今回ノ法幣安定資金供與協定ノ調印ニヨリ米支兩國ハ通貨協力ノ分野ニ於テ新タニ重要ナ一步ヲ劃シタ。右協定中ニハ米國ノ安定資金ヲ以テ總額五千萬弗ヲ限度トシ法幣ノ購入ヲ行フコトガ規定サレ支那ハ米支兩國當局ノ合意條件ヲ以テ弗法幣安定資金ヲ設定スル、右資金ニハ法幣賣買ヲ通ジテ米國ヨリ獲得セル弗及ビ中國銀行ヨリ據出セル二千萬米弗ヲ充當スル、同協定ハ基礎的自由保持ノ爲各方面ニ共同行動ヲトリ密接ナ友好關係ニアル<sup>(米)</sup>日支兩國間ニ結バレタ協力協定デアリ、兩國通貨關係ヲ安定セシメルトイフ明白ナル目的以外、更ニ關係國ノ繁榮ヲ培フ重要因子トナルデアラウ、支那ハ又英國大藏省トノ間ニ既ニ一九三九年設定セル現存ノ英支通貨安定資金ノ外五百萬磅「スターリング」ノ法幣安定資金供與協定ヲ締結シタ、同協定ハ米支間ノ協定ト密接ニ平行スルモノデアリ、兩資金ハ支那ガ目下設置計畫中ノ五名ヨリナル通貨安定管理委員會ニ依リ管理セラレルコトトナリ同委員會ハ支那側三名、米財務長官ノ推薦ニ依リ支那側ノ任命セル米人一名、及ビ英大藏省ノ推薦ニ依リ支那側ノ任命セル英人一名ヨリ構成サレル

(2) 「ハリファックス」駐米大使「ステートメント」

「フイリツプス」英特派使節ハ宋子文特派使節トノ間ニ  
法幣安定資金供與協定ニ正式ニ調印ヲ了シタ、右協定ニ  
依リ英國大藏省ハ支那ニ對シ五百萬磅ノ追加法幣安定資  
金ヲ供與スル、同協定ハ英支兩國間ノ通貨協力ノ分野ニ  
於ケル新タナ一步ヲ劃スルモノデアリ兩國ノ友好關係ヲ  
象徴スルモノデアル

